

概要版



平戸市 未来創造羅針盤

第2次平戸市総合計画

2018→2027



夢あふれる
未来のまち
平戸

平成30年3月
長崎県平戸市

プロローグ



「月の夜ばい 満潮ばい ばってら出そたい
明笛（みんてき）吹こたい 伴田の孫やん踊らすばい
常灯の鼻の鼻つらが 海にうつって 三角ばい
もうぢき瀬戸は たるむとばい たるめば ほんと がらす絵ばい」

（藤浦 洸「海の中の故郷」より）

エキゾチックな雰囲気、潮風の香りとともに歴史と文化、自然を感じさせてくれるまち平戸…

古くから平戸では、海外貿易が盛んに行われ、中国や朝鮮と深いつながりを持ち、奈良、平安時代には遣唐使船の寄港地として、多くの若者が夢とロマンを胸に往来していました。また、1550 年にはポルトガル船が入港して貿易がはじまり、これを契機に栄えて「西の都」と呼ばれ、オランダやイギリスなどヨーロッパの国々の船が行きかう国際貿易港となりました。

そして、縄文・弥生時代からの遺跡が点在する田平、江戸時代からの町並みが残る大島、日本一の鯨組を築き上げた漁師まちである生月、これら多彩な歴史に富んだ地域がひとつになり平戸が形成されました。

私たちのまちは、常に新しいものを受け入れ、平戸ならではの文化を創造し続けています。また、俳人の種田山頭火は、島の美しい自然に感激し「平戸は日本の公園である」と句を詠むなど、その特色ある歴史と文化、自然はやがて平戸の「宝」となり、代々この地に暮らす人の心に染み渡り、受け継がれ、いま、私たちの誇りの源となっています。

さあ、新しい物語の始まりです。いまこそ平戸市民としての誇りを胸に、明るい未来を創造するため、このまちに住むすべての人の力を結集して、私たちの平戸を描いていきましょう。



》 平戸市が描く未来

● 平戸市未来創造羅針盤が描く未来像



平戸市は、若者の都市部への流出による人口減少・少子高齢化の波にのまれようとしており、そのことが 地域コミュニティ※ やまちのにぎわい、産業振興などにも影響を及ぼしています。

まだ見ぬ新たな困難が、今後現れることも想定されます。「いまが良ければ」「自分が良ければ」では、平戸市は時代の波とともに消えてしまいかねないのです。

私たち一人ひとりには、次世代を担う子どもたちが夢を持って未来を描くことができる平戸市をつくる責務があります。その覚悟と決意を持ち、私たちの郷土に誇り（シビックプライド※）を持ち、「夢あふれる 未来のまち 平戸」を未来像として掲げ、市民の誰もがずっと住みたいと思えるまちづくりに挑んでいきます。

やるばい！平戸！！

● 未来像に込める想い

夢あふれる

「夢あふれる」という言葉には、平戸市がもつ「歴史」「恵み」「祈り」をさらに輝かせることでシビックプライド※につなげ、全ての市民の様々な想いを叶えることができる「夢のようなまち」となるように、という願いが込められています。

未来のまち

「未来のまち」という言葉には、他のどこの地域にもない「平戸らしさ」を磨き上げ、全ての市民が明るく元気に活躍する未来を描いていけるように、という願いが込められています。

語句説明

※ばってら…外来語（ポルトガル語）。小船のこと。方言。

※伴田…江戸時代の平戸の商家。

※たるむ…潮の満ち引きが止まった状態で、波が無い状況のこと。方言。

※藤浦 光…「（ふじうら こう）1898年9月1日～1979年3月13日」平戸市出身の作詞家、詩人。ラジオ体操第1の前に流れる「ラジオ体操の歌」や「別れのブルース」（歌：淡谷のり子）、「河童ブギウギ」（歌：美空ひばり）など多くの作詞を手掛けた。

※種田 山頭火…「（たねだ さんとうか）1882年12月3日～1940年10月11日」山口県出身の俳人。「まつすぐな道でさびしい」や「分け入つても分け入つても青い山」など多くの俳句を詠んでいる。

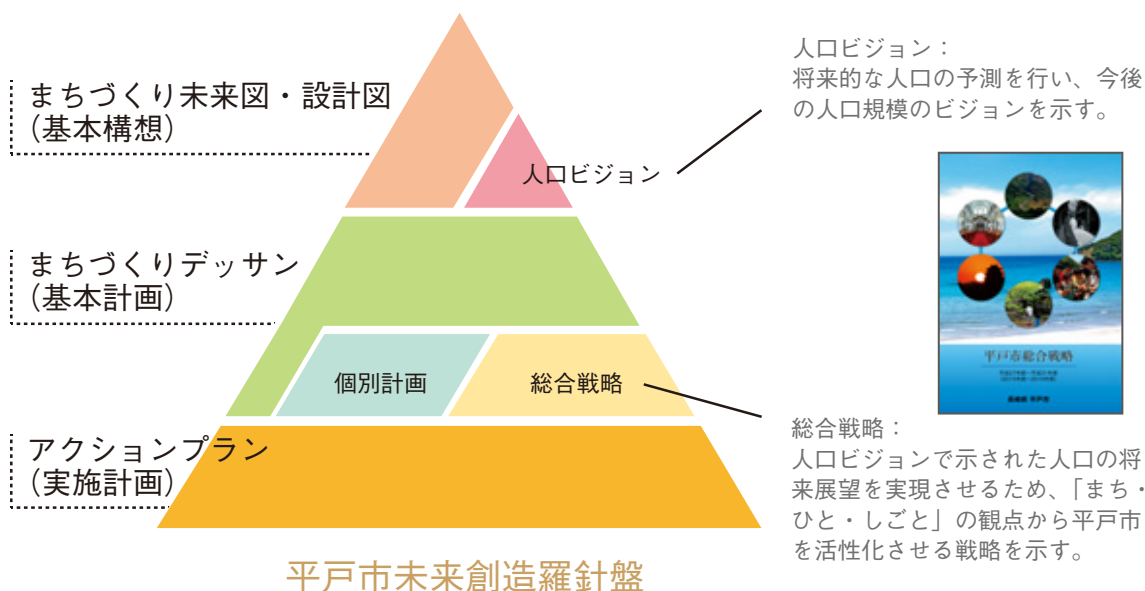
※地域コミュニティ…地域住民が生活している場所、すなわち消費、生産、労働、教育、衛生・医療、遊び、スポーツ、芸能、祭りに関わり合いながら、住民相互の交流が行われている地域社会。

※シビックプライド…個々人がまちに抱く誇りや愛着のこと。

》 平戸市未来創造羅針盤とは？

私たちのまちの進むべき方向性を自然・環境・福祉・教育・産業などあらゆる分野において総合的に計画し、まちの未来像である「夢あふれる 未来のまち 平戸」の実現に向けた取組みを示したものであり、平戸市の未来を動かす最上位計画です。

平戸市未来創造羅針盤は、目指すべき都市像を示す「まちづくり未来図・設計図（基本構想）」、そのために必要な各施策分野の方向性を示す「まちづくりデッサン（基本計画）」、各分野の施策を具体化した「アクションプラン（実施計画）」の3層で構成されています。



● 計画の期間

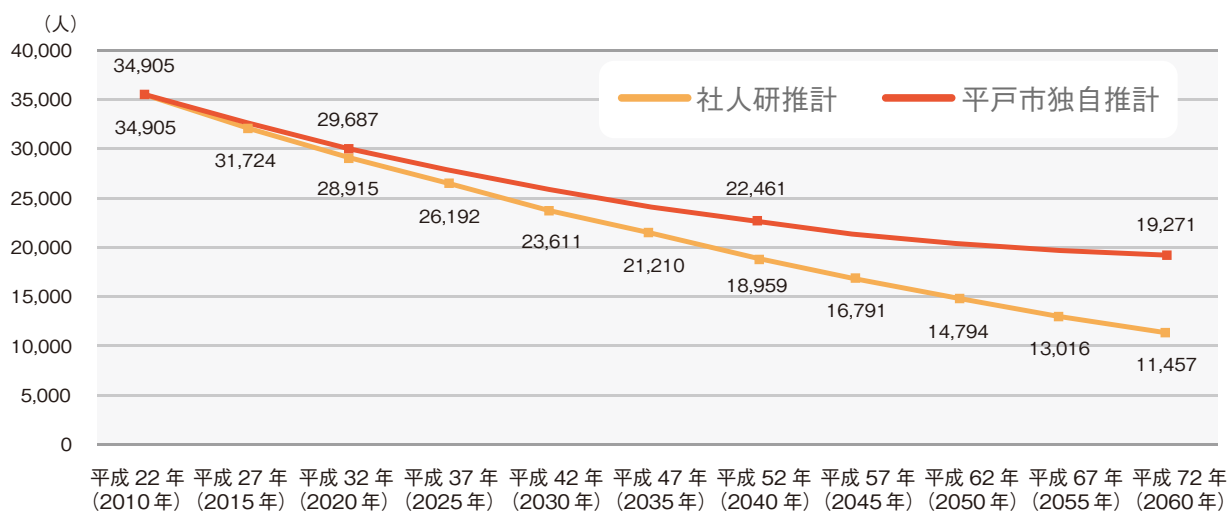
H30 年度 (2018 年)	H31 年度 (2019 年)	H32 年度 (2020 年)	H33 年度 (2021 年)	H34 年度 (2022 年)	H35 年度 (2023 年)	H36 年度 (2024 年)	H37 年度 (2025 年)	H38 年度 (2026 年)	H39 年度 (2027 年)
まちづくり未来図・設計図（平成 30（2018）～平成 39（2027）年度）									
まちづくりデッサン（前期） （平成 30（2018）～平成 34（2022）年度）					まちづくりデッサン（後期） （平成 35（2023）～平成 39（2027）年度）				
アクションプラン					毎年度見直し				
		アクションプラン							
		アクションプラン							

平戸市の人口ビジョン

平成 27（2015）年度に策定した「平戸市人口ビジョン」では、「平戸市総合戦略」などによる人口減少抑制対策の効果により、合計特殊出生率が高い水準を維持、かつ社会増減が平成 52（2040）年にゼロとなるように改善されていくと仮定した独自推計を行っています。

「平戸市未来創造羅針盤」においては、「平戸市総合戦略」を含めた形で策定しており、引き続き人口減少対策に取り組むこととしています。

人口の将来展望



(人)

	平成 32 年 (2020 年)	平成 52 年 (2040 年)	平成 72 年 (2060 年)
社人研※推移	28,915	18,959	11,457
平戸市独自推計	約 30,000	約 23,000	約 20,000

資料：平戸市人口ビジョン

「平戸市総合戦略」では、人口減少が緩やかになるという展望ですが、施策の進捗によっては推計を下回る可能性があり、予断を許さない状況にあります。

人口減少は、産業・経済の衰退や財政の縮小に直結することから、常に危機感を持ち、今後も市民・行政が一体となって知恵を絞り、新たな施策を見だし、失敗を恐れずチャレンジしていかなければなりません。

》 シン・平戸創生プロジェクト



「平戸市未来創造羅針盤」で掲げるまちの未来像「夢あふれる 未来のまち 平戸」を実現するため、今回の計画の重点プロジェクトとして、3つのテーマをもとにしたプロジェクトに取り組み、新たな変革につなげていきます。

夢あふれる 未来のまち 平戸

シン・平戸創生プロジェクト

伸 平戸

未来を担う 人材創出 プロジェクト

産業人材確保としての「大学や専門学校などの高等教育機関の誘致」と、産業人材の育成対策を強化し、地域産業に活気をもたらす取り組みを進めます。

進 平戸

もうける 農林水産 プロジェクト

農林業においては、法人化・協業化や、情報通信技術活用による省力化を推進します。また、水産部門においては、持続的な再生産体制を確立するための“資源管理型漁業の推進”と“流通販売方法の改善”に取り組みます。

新 平戸

平戸観光地力 向上 プロジェクト

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録の推進、「平戸城」のリニューアルなどを契機とし、DMO※の組織化により地域内で連携強を図りながら、多くの観光客でにぎわう平戸を目指します。

語句
説明

※DMO…Destination Management Organization（ディステイション・マネージメント・オーガニゼーション）の略で、経営の視点を持ち、魅力ある観光地域づくりを主導的かつ持続的に推進し、新たな観光市場を創造する組織のこと。

まちづくりプロジェクト

まちづくりプロジェクトでは、平戸市の未来像を実現するため市民と行政が一体となり、強い覚悟をもって、共通プロジェクトと6つの基本プロジェクトを中心にあらゆる取り組みを行っています。

まちづくりプロジェクトの見方	平戸市の未来	平戸市の未来では、施策を協働※で推進し、様々な課題を克服した場合の10年後の未来を記載しています。
	みんなにできること	みんなにできることでは、施策を推進していくにあたり、市民一人ひとりが取り組めることを記載しています。



共通プロジェクト

きずなをつなぐプロジェクト

【協働※、地域コミュニティ※、シビックプライド※】

地 域組織や NPO※、ボランティアなどの市民活動を積極的に支援し、活動を担う団体や個人の育成を行います。また、市民が地域との絆を深め、ふるさと平戸に愛着や誇り（シビックプライド※）を抱き、「ずっと住みたいまち」につながる取り組みを行います。

基本方向1 みんなで進める協働のまちづくり

1 市民協働型社会を確立する

平戸市の未来	市民と行政が対等な立場で連携・協力している市民協働型社会が確立されています。
みんなにできること	地域で行われるまちづくり活動発表の場や研修会に参加し、協働※の意識を高めましょう。

2 自立と支えあいによる集落形成を推進する

平戸市の未来	市民と行政が連携・協働※し、持続可能な集落が形成されています。
みんなにできること	シビックプライド※を持ち、まちづくり活動に関わっていきましょう。

基本方向2 誇りと夢を持てるまちづくり

1 市民のシビックプライド※を高める

平戸市の未来	全ての市民が平戸に愛着や誇りをもち、地域が活性化しています。
みんなにできること	平戸のすばらしさを知り、愛着や誇りを高め地域内外にアピールしましょう。



語句説明

※協働…市民、自治会・町内会、ボランティア団体、NPO、事業者、企業、市などのさまざまな主体が、公共の利益に資する同一の目的を持って取り組むまちづくり活動に対し、対等の立場で連携の上、協力及び協調して取り組むこと。
 ※地域コミュニティ…地域住民が生活している場所、すなわち消費、生産、労働、教育、衛生・医療、遊び、スポーツ、芸能、祭りに関わり合いながら、住民相互の交流が行われている地域社会。
 ※シビックプライド…個々人がまちに抱く誇りや愛着のこと。
 ※NPO…様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対して収益を分配することを目的としない団体の総称。



基本プロジェクト

しごとをひろげるプロジェクト

【産業、雇用】

中 小企業の育成と工業団地整備などによる企業誘致を促進し、雇用の安定と拡大を目指します。また、平戸市の基幹的産業である農林水産業の振興を図るための施策を展開するとともに、豊かな自然の恵みから生み出される農林水産品、加工品の平戸産品について積極的に情報発信し、認知度とブランド力の向上を目指します。

基本方向1 たくましく元気な産業の振興

1 次代につながる農林業を振興する

平戸市の未来

若い農業者による先進的な農業経営や大規模農業経営体が創出され、農村集落が活性化されています。

みんなにできること

産地である地域が一体となって農業の担い手の確保・育成に努め、地域農業の課題解決に向けて積極的に取り組みましょう。

2 持続可能な水産業を確立する

平戸市の未来

高品質な水産物の産地として広く認知され、若手漁業者も安定した収入が得られ、水産業が生業として確立しています。

みんなにできること

沿岸域の環境保全に関心を持ち、地元産の魚介類を積極的に消費しましょう。

3 活力のある商工業を振興する

平戸市の未来

活力ある商工業が育成されています。

みんなにできること

衣食住など生活に必要なものは市内で購入し、市内消費に努めましょう。

4 平戸産品の販路を拡大する

平戸市の未来

平戸産品を軸としたブランド化事業の推進により、全国的に「平戸」の知名度が向上しています。

みんなにできること

全国にも誇れる平戸産品をもっと消費しましょう。

基本方向2 魅力あるしごとの創造

1 新たな産業を構築する

平戸市の未来

若者や高齢者など、全ての市民に雇用機会が拡大されています。

みんなにできること

自らの経験や知識を活かして、新たなビジネスにチャレンジしましょう。





基本プロジェクト

ひとをそだてる プロジェクト

【子育て、教育】

妊

娠、出産、育児といったそれぞれの段階ごとに切れ目のない支援を行うとともに、子どもたちが自ら行動する力を身につけることのできる教育を推進します。また、生涯いきいきと活躍できる人づくりを行い、その成果が地域社会に活かされる生涯学習を進めていきます。

基本方向1 健やかに成長する子育て環境の整備

1 子育て支援を充実する

平戸市の未来 子どもたちが健やかで笑顔あふれる地域が形成されています。

みんなにできること 子育てに関する知識を深め、地域全体で子育て支援に取り組みましょう。



基本方向2 生涯にわたる学習による人づくり

1 生涯学習・社会教育を充実する

平戸市の未来 まなびをまちづくりに生かす活動が増えています。

みんなにできること 生涯を通じて学び続ける意欲を持ち、学習で得られた成果を地域に還元しましょう。

2 人権を身近なものとする

平戸市の未来 日々の暮らしのなかで、常に人権意識を持った行動により、偏見や差別のないまちになっています。

みんなにできること 人権を日々の暮らしのなかで、常に意識し行動することで、お互いに認め合ひましょう。

3 男女共同参画社会※を実現する

平戸市の未来 男女が子育てなどお互いに協力し、仕事や地域活動との両立ができています。

みんなにできること 性別にかかわらず、個性と能力を発揮しましょう。

4 恒久平和の実現に向け取り組む

平戸市の未来 平和な社会が構築され、誰もが日常生活を安心して営んでいます。

みんなにできること 核兵器の廃絶と平和の尊さを訴え、世界の恒久平和実現のため、平和意識を高めましょう。

5 平戸の明日を担う人材を育成する

平戸市の未来 規範意識や社会性を身に付け、よりよいふるさとや自らの人生を切り拓く人材が増加しています。

みんなにできること 郷土の明日を担う子どもたちが、心豊かでたくましく成長していけるように、それぞれの立場から子どもたちを育てていきましょう。

6 市民が気軽に参加できるスポーツを推進する

平戸市の未来 市民一人ひとりが笑顔で参画するスポーツ環境が構築されています。

みんなにできること スポーツ活動に積極的に参加しましょう。



基本プロジェクト

くらしをまもる プロジェクト

【保健、医療、福祉】

市 民の健康づくりや生きがいづくり活動を促進するとともに、保健・医療体制、各種福祉の充実を図ります。また、誰もが相互に支え合い、多様な在り方を認め合える住民参加型の地域共生社会※の実現を目指します。

基本方向 1 笑顔輝く健康生活の実現

1 生涯を通した健康づくりを推進する

平戸市の未来

市民が健康でいきいきと心豊かに暮らしています。

みんなにできること

自身の健康に関心を持ち、健康づくりに努めましょう。

基本方向 2 安心安全な医療体制の充実

1 安心できる地域医療の体制を整備する

平戸市の未来

安心して生活できる地域医療が確立されています。

みんなにできること

「かかりつけ医」を持つことや救急医療の制度を理解し、医療機関の適切な受診に心がけましょう。

基本方向 3 みんなが活躍できる福祉の充実

1 高齢者が住みやすい環境を構築する

平戸市の未来

高齢者が誇りを持って、自分らしく住み慣れた地域で暮らしています。

みんなにできること

高齢者が住み慣れた地域で生活できるようお互いに支えあいましょう。

2

障がいのある人もない人も共に生きる

平戸市の未来

障がいのある人もない人も、安全で安心な暮らしができるまちになっています。

みんなにできること

障がいに対する理解を深め、積極的に声をかけましょう。

3 地域の支えあいで福祉を充実する

平戸市の未来

子どもから高齢者まで健康で笑顔あふれるまちになっています。

みんなにできること

1人ひとりが自分にできることを行い、地域で助け合い、支えあいましょう。



語句説明

※地域共生社会…制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域とともに創っていく社会のこと。

基本プロジェクト

まちをつくる プロジェクト

【定住・移住、自然環境、生活基盤】

安

安心して快適に暮らし続けることができる環境の整備に努め、Uターン及びIターンを希望している世帯の意向に沿うことができる、魅力的なまちづくりを推進します。また、市民の生命と財産を守るための防災、防犯体制の充実を図るとともに、豊かな自然と調和した公園や緑地の整備、住環境の向上などに取り組みます。

基本方向1 住みたい住み続けたいまちづくり

1

定住・移住者を 支援する



平戸市
の未来

定住・移住の総合的な対策に取り組むことで、転入者が増えています。

みんなに
できること

希望に満ちあふれた、魅力あふれる住みよいまちをつくりましょう。



基本方向2 未来へつなぐ自然環境

1

持続可能な 低炭素社会を実現する

平戸市
の未来

環境に配慮した地球にやさしいまちづくりができています。

みんなに
できること

家庭でできる省エネルギー対策に取り組み、CO₂排出の抑制に努めましょう。

2

美しい 自然環境を守る

平戸市
の未来

美しい海や緑豊かな山など自然環境が守られています。

みんなに
できること

私たちが暮らす平戸の自然環境を大切に、環境保全に努めましょう。

3

循環型社会※を 構築する

平戸市
の未来

環境にやさしい循環型社会※に着実に近づいています。

みんなに
できること

ごみの減量化とリサイクルの推進に努めましょう。

4

良好な生活環境を 確保する

平戸市
の未来

さわやかで清らかな生活環境のなかで暮らしています。

みんなに
できること

生活環境を身近な問題と捉え、環境保全の活動を実践しましょう。

基本方向3 住み良いまちを支える生活基盤の実現

1 くつろぎと魅力のある居住空間を形成する

平戸市の未来

安心して快適に住み続けられるまち、ずっと住みたいまちになっています。

みんなにできること

清掃活動に進んで参加し、居住環境の美化に努めましょう。

2 安全で安心な水道水を安定的に供給する

平戸市の未来

市民に安全で安心な水道水が安定的に供給されています。

みんなにできること

水道資源の環境保全に努めるとともに、水を大切に使いましょう。

3 良好な都市環境を形成する

平戸市の未来

豊かな自然環境や快適な居住空間が保全され、良好な都市環境が形成されています。

みんなにできること

平戸らしい景観が保てるよう地域の清掃活動などに積極的に参加しましょう。

4 災害に強いまちづくりを推進する

平戸市の未来

自主防災組織※が中心となって防災・減災活動に取り組む「災害に強いまち」が形成されています。

みんなにできること

いざという時のために「自らの身は自らで守る」という考えのもと、防災意識・知識の向上に努めましょう。

5 生命財産を守る消防救急体制を充実する

平戸市の未来

消防救急体制が整い、市民が安全で安心に暮らせるまちになっています。

みんなにできること

各種訓練に積極的に参加し、防火・防災の意識を高めましょう。

6 交通安全対策を推進する

平戸市の未来

交通規則を遵守し、交通事故発生件数が減少しています。

みんなにできること

日頃から交通規則を遵守し、安全運転を心がけましょう。

7 安心できる消費生活環境や防犯対策を推進する

平戸市の未来

市民一人ひとりの防犯意識が高まり、犯罪が起こりにくいまちになっています。

みんなにできること

消費者問題に対する正しい情報を取得し、防犯意識の向上に努めましょう。

8 暮らしを支える公共交通基盤を確保する

平戸市の未来

公共交通が維持され、住民の移動手段が確保されています。

みんなにできること

積極的に公共交通機関を利用しましょう。

9 快適な交通ネットワークを整備する

平戸市の未来

道路が整備され、安全な交通アクセスが確保されています。

みんなにできること

道路愛護事業や沿線樹木伐採事業に地域で取り組みましょう。



語句説明

※自主防災組織…主に自治会など、地域住民が日常生活上の一体性を感じられる区域を基礎単位として結成された、災害による地域の被害を予防・軽減するための活動を行う組織。



基本プロジェクト

たからをみせるプロジェクト

【観光、文化、シティプロモーション※】

歴

史・文化・自然・食など、平戸市が有する独自の地域資源と世界遺産候補地を活かした観光を推進し、魅力ある観光地づくりを行います。また、豊かな自然や歴史文化遺産、伝統文化などの保存・活用・継承を図り、これらの豊富な地域資源の魅力を総合的かつ戦略的に国内外各都市へ発信するシティプロモーション※を推進します。

基本方向1 キラリ輝く観光地平戸

1 DMO※を推進する

平戸市
の未来

観光に携わる事業者や団体のお互いの良さが活かされた観光連携ができています。

みんなに
できること

観光事業者や観光の団体をみんなで応援しましょう。

2

おもてなしの観光地づくりを推進する

平戸市
の未来

来訪者の満足度が高く、何度も訪れたくなる観光地になっています。

みんなに
できること

おもてなしの心で観光客を迎え、笑顔での挨拶を心がけましょう。

3 五感型観光を推進する

平戸市
の未来

活気にあふれ、ロングステイができる観光地平戸となっています。

みんなに
できること

観光イベントに参加し、積極的に観光に携わしましょう。

4

観光誘客プロモーションを強化する

平戸市
の未来

多様な観光情報が容易に入手できるグローバル※な観光地となっています。

みんなに
できること

平戸観光の魅力を、SNS※でアピールしましょう。

5 外国人観光客を誘客する

平戸市
の未来

国外の観光客にも魅力ある観光地となっています。

みんなに
できること

外国人観光客を見かけたら、おもてなしの心をもって積極的にサポートしましょう。

6

歴史を活かした地域間交流・国際交流を促進する

平戸市
の未来

さまざまな地域と交流することによって、お互いの地域の知識や理解が深まっています。

みんなに
できること

積極的にふるさとの歴史や文化への理解を深めましょう。

語句
説明

※シティプロモーション…地域の魅力を喚起し、市の知名度やイメージを向上させる活動のこと。

※DMO…Destination Management Organization (ディスタニエーション・マネジメント・オーガニゼーション) の略で、経営の視点を持ち、魅力ある観光地域づくりを主導的かつ持続的に推進し、新たな観光市場を創造する組織のこと。

※グローバル…世界的規模、包括的な意味のこと。

※SNS…Social Networking Service(ソーシャル・ネットワーキング・サービス) の略語で、人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型の会員制のサービス、あるいはそういったサービスを提供するウェブサイトのこと。

基本方向2 後世に伝える平戸の宝

1 歴史・伝統文化を 保存・継承・活用する

平戸市
の未来

豊かな自然や歴史文化遺産、伝統文化などを大切にしたい、市民の郷土愛が育まれています。貴重な文化資源の保存・継承・活用に努めましょう。

みんなに
できること

2 芸術文化活動を推進する

平戸市
の未来

優れた芸術に触れる機会が増え、市民の文化活動の質や成果発表への意欲が高まっています。

みんなに
できること

音楽、文芸、歴史研究など自主的なグループ活動を展開し、相互連携して文化の向上に努めましょう。

基本方向3 シティプロモーション※ 戦略の推進

1 平戸の魅力を発信する

平戸市
の未来

平戸の魅力と認知度が高まり、定住・移住や交流人口などの拡大によってまちが活性化しています。

みんなに
できること

地域に愛着や誇りをもち、一人ひとりが地域の魅力を発信しましょう。



基本プロジェクト

ちからをつける プロジェクト

【行財政運営】

少

子高齢化に伴う人口減少が進むなかで、高度化・多様化する市民ニーズや社会情勢の変化、様々な地域課題に柔軟に対応できる自治体経営を推進するとともに、将来を見据えた健全な行財政運営を目指します。

基本方向1 持続可能な自治体を経営する

1 持続可能な 自治体を経営する

平戸市
の未来

持続可能な自治体経営が行われています。

みんなに
できること

次世代に負担を残さぬよう、持続可能な自治体経営となっているか、市政に関心をもちチェックしましょう。

2

安定した健全財政を 推進する

平戸市
の未来

健全な財政基盤が構築され、市民のニーズに対応した行政サービスが提供されています。

みんなに
できること

税金の仕組みと使われ方を理解し、税金の期限内納付を徹底しましょう。



語句
説明

※シティプロモーション…地域の魅力を喚起し、市の知名度やイメージを向上させる活動のこと。

》 平戸市の宝

※平戸市の宝は市民アンケートを参考に
記載しています。

平戸市の「宝」である、歴史・文化・自然などの地域の特性と多彩な地域資源を最大限に活用し、市民が誇れる魅力ある郷土づくりを目指します。



平戸大橋

全長 665m。夜になるとイルミネーションが灯り、平戸瀬戸を幻想的に彩ります。また、平戸大橋の下には公園があり大橋をバックに美しい写真を撮ることができます。



生月大橋

全長 960m。橋を渡った辺り一帯は、大橋公園として整備されており生月の特産品を販売する売店や観光案内所、橋を一望できる展望所などがあります。



大バエ灯台

100m ほど切り立つ断崖の上に立つ白亜の灯台。360 度パノラマで展望できます。



田平天主堂

ロマネスク様式の赤レンガづくりの教会で、鉄川与助の代表作といわれています。
(国指定重要文化財)



大賀断崖

大島の北東部に連なる断崖。断崖上部はキャンプ場と展望所があります。



平戸城

平戸藩主松浦氏の居城で、別名亀岡城とも呼ばれます。城の建築方法としては珍しい山鹿流によって建てられた城です。



寺院と教会の見える風景

平戸ザビエル記念教会と光明寺、瑞雲寺が交差して見える風景。日本と西洋の文化を感じさせる平戸を代表する景観のひとつとなっています。

その他にも多くの宝があります

- 市内の教会群
- 平戸島の文化的景観
- 川内峠
- 人津久海水浴場
- 平戸神楽
- 生月サンセットウェイ
- 大島村神浦の町並み
(重要伝統的建造物群保存地区)



あご(トビウオ)

あごは秋に船曳網漁で漁獲される平戸の代表的な魚で、主に加工用の原料(焼きあご)として利用されています。



志々伎山(しじきさん)

平戸市の南端にあり、標高は 347m。山頂部が円錐状に突出した露岩となっています。

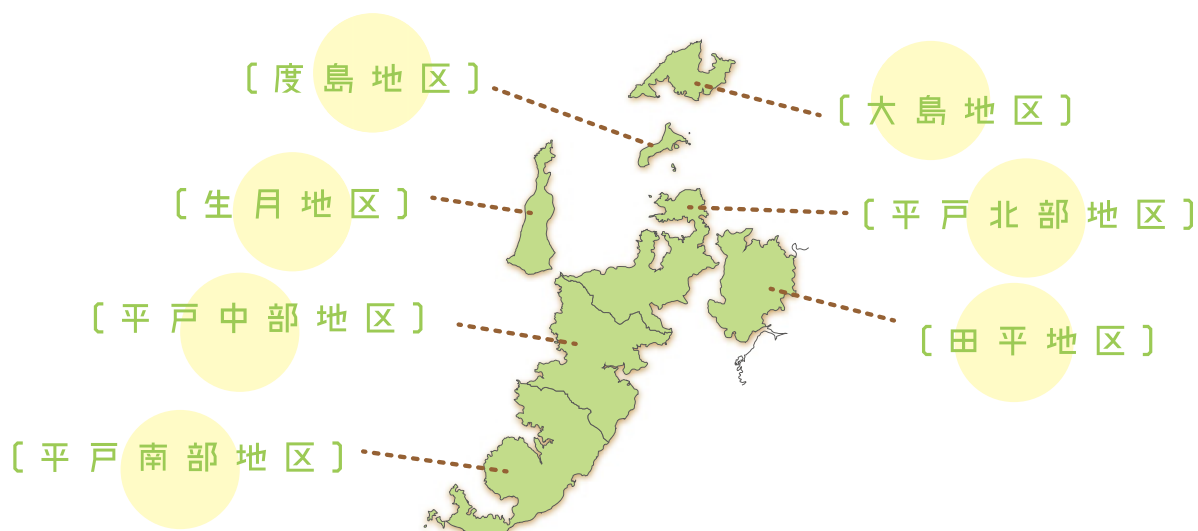


根獅子海水浴場

日本の快水浴場百選にも選ばれた美しい海水浴場。透明度の高い海水に、白い砂浜が特徴です。

》 地域づくりプロジェクト

平戸市内にはそれぞれの特色を持った7つの地域があります。平戸市未来創造羅針盤では、各地域の独自性や優位性を活かし、10年後も元気で生き生きとした地域であり続けるために、「地域づくりプロジェクト」を掲げ、市民と行政が一体となって取組みを進めます。



[平戸北部地区]

目指すべき姿

豊かな資源を活かした 光輝く交流のまちづくり

～歴史・文化・自然の宝庫 平戸北部～



田助ハイヤ節



棲霞園



鄭成功関連史跡

重点的な取組み

- 観光資源の磨き上げと観光客へのおもてなし力向上
- 町並み環境整備や商店街の活性化による、市民や観光客が歩きたくなるまちづくり
- 沿岸漁業及び養殖業など地域の特性に応じた水産業の振興



〔平戸中部地区〕

目指すべき姿

「歴史」「恵み」「祈り」 のまちづくり

～平戸の魅力が凝縮された未来あふれるまち 平戸中部～



春日の棚田



普門寺



慈眼桜

重点的な取組み

- 世界遺産登録推進を契機とした交流の地域づくり
- 園芸、畜産などの特色ある第一次産業の振興
- 地域の宝である資源の活用と維持

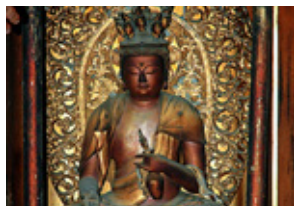


〔平戸南部地区〕

目指すべき姿

奥平戸から新たな風を つくり出すまちづくり

～豊かな自然や恵みと共にひとが輝く 平戸南部～



阿弥陀寺の十一面観世音菩薩座像



阿値賀島



津吉茶市

重点的な取組み

- 自然や伝統芸能などの継承の推進
- 絆を深めて安全安心のまちづくりの推進
- 特産品開発、体験型観光事業の推進



〔生月地区〕

目指すべき姿

未来へつなごう！ 人情味あふれるまちづくり

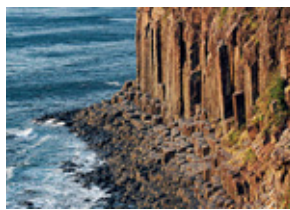
～つんで やるかい ワクワク 生月～



館浦須古踊り



生月勇魚捕唄



塩俵の断崖

重点的な取組み

- 子どもから高齢者までの笑顔でつながるまちづくりの推進
- 自然景観と歴史文化を活用した観光事業の推進
- 漁場環境の整備などによる沿岸漁業の振興

〔田平地区〕

目指すべき姿

活かせ！！海・山・歴史。 いっちょやるばい田平おこし

～住み続けたいふるさと 田平～



荻田浮立



中瀬草原



道の駅「昆虫の里たびら」

重点的な取組み

- 地域行事、伝統文化、体育振興を積極的に行う活力あるまちづくり
- 未来を担う子どもたちの健全育成、体験型学習、子育て支援・環境づくり
- 農林水産業の活性化や地域とともに発展する特産品の開発

〔大島地区〕

目指すべき姿

島に希望を見い出す
まちづくり
～未来への風が吹く宝島 ^{あづち} 的大島～



大島の須古踊り



大根坂の棚田



大島地区風力発電

重点的な取組み

- 体験型観光事業の推進
- 大島独自の高齢者対策の推進
- 基幹産業である第一次産業の推進



〔度島地区〕

目指すべき姿

「行こう！憩こう！度島」
のまちづくり
～自然・人情豊かな 伝統の郷（さと）度島～



盆ごうれい



丸島



崎瀬ノ鼻

重点的な取組み

- 安全、安心で住みやすいまちづくりの推進
- 子育て支援及び高齢者の生きがいづくり
- 絆を強めるイベントづくり



平戸市 未来創造羅針盤

第2次平戸市総合計画



発行年月◎平成30年3月

発行◎長崎県 平戸市財務部企画財政課

〒859-5192 平戸市岩の上町1508番地3

TEL : 0950-22-4111

<http://www.city.hirado.nagasaki.jp/>